



独立歩兵
第三十四大隊

9

隊		部		係		南		部		已		目	
独混三旅團砲兵隊	〃三五一大隊	〃三五〇大隊	独歩第三更大隊	独歩第三旅團司令部	独歩第三旅團司令部	兵隊	配	被	隊	隊	隊	隊	隊
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右

編成表
及司令部隊編成人員表
南洋群島分隊
江見示

(續各表・京東)

1418
1419

備考		職		階級		氏名	
第一海上機動隊	同	同	同	同	同	同	同
第五七名	同	同	同	同	同	同	同
独混五三旅団工兵隊	同	同	同	同	同	同	同
備考	一十月三十日現在トス						

隊	職	階級	氏名	隊	職	階級	氏名
大隊長	少佐	江見秀夫	中隊長	中隊長	中尉	永岡茂	
副官	中尉	前澤武四郎	小隊長	少尉	藤田俊美		
附	少尉	海因正一郎	中隊長	中尉	中原留雄		
同	少尉	三井佐市	小隊長	少尉	塩谷栄作		
同	少尉	細井瑞穂	中隊長	少尉	岡田義男		
同	少尉	福井文俊	小隊長	少尉	吉田昇		
同	少尉	高地重隆	大尉	大尉	平山武雄		
同	少尉	西山圭一	小隊長	少尉	大竹大麿		
中隊長	中尉	菅原雄四郎					
小隊長	少尉	結城誠藏					

増減時期	員数	備考
一九七五	一七名	第一回現地召集兵入隊
一九七六	一七名	第二回現地召集兵入隊
一九七七	一七名	第三回現地召集兵入隊
一九七八	一七名	第四回現地召集兵入隊
一九七九	一七名	第五回現地召集兵入隊
一九八〇	一七名	第六回現地召集兵入隊
一九八一	一七名	第七回現地召集兵入隊
一九八二	一七名	第八回現地召集兵入隊
一九八三	一七名	第九回現地召集兵入隊
一九八四	一七名	第十回現地召集兵入隊
一九八五	一七名	第十一回現地召集兵入隊
一九八六	一七名	第十二回現地召集兵入隊
一九八七	一七名	第十三回現地召集兵入隊
一九八八	一七名	第十四回現地召集兵入隊
一九八九	一七名	第十五回現地召集兵入隊
一九九〇	一七名	第十六回現地召集兵入隊
一九九一	一七名	第十七回現地召集兵入隊
一九九二	一七名	第十八回現地召集兵入隊
一九九三	一七名	第十九回現地召集兵入隊
一九九四	一七名	第二十回現地召集兵入隊
一九九五	一七名	第二十一回現地召集兵入隊
一九九六	一七名	第二十二回現地召集兵入隊
一九九七	一七名	第二十三回現地召集兵入隊
一九九八	一七名	第二十四回現地召集兵入隊
一九九九	一七名	第二十五回現地召集兵入隊
二〇〇〇	一七名	第二十六回現地召集兵入隊
二〇〇一	一七名	第二十七回現地召集兵入隊
二〇〇二	一七名	第二十八回現地召集兵入隊
二〇〇三	一七名	第二十九回現地召集兵入隊
二〇〇四	一七名	第三十回現地召集兵入隊
二〇〇五	一七名	第三十一回現地召集兵入隊
二〇〇六	一七名	第三十二回現地召集兵入隊
二〇〇七	一七名	第三十三回現地召集兵入隊
二〇〇八	一七名	第三十四回現地召集兵入隊
二〇〇九	一七名	第三十五回現地召集兵入隊
二〇一〇	一七名	第三十六回現地召集兵入隊
二〇一一	一七名	第三十七回現地召集兵入隊
二〇一二	一七名	第三十八回現地召集兵入隊
二〇一三	一七名	第三十九回現地召集兵入隊
二〇一四	一七名	第四十回現地召集兵入隊
二〇一五	一七名	第四十一回現地召集兵入隊
二〇一六	一七名	第四十二回現地召集兵入隊
二〇一七	一七名	第四十三回現地召集兵入隊
二〇一八	一七名	第四十四回現地召集兵入隊
二〇一九	一七名	第四十五回現地召集兵入隊
二〇二〇	一七名	第四十六回現地召集兵入隊
二〇二一	一七名	第四十七回現地召集兵入隊
二〇二二	一七名	第四十八回現地召集兵入隊
二〇二三	一七名	第四十九回現地召集兵入隊
二〇二四	一七名	第五十回現地召集兵入隊
二〇二五	一七名	第五十一回現地召集兵入隊
二〇二六	一七名	第五十二回現地召集兵入隊
二〇二七	一七名	第五十三回現地召集兵入隊
二〇二八	一七名	第五十四回現地召集兵入隊
二〇二九	一七名	第五十五回現地召集兵入隊
二〇三〇	一七名	第五十六回現地召集兵入隊
二〇三一	一七名	第五十七回現地召集兵入隊
二〇三二	一七名	第五十八回現地召集兵入隊
二〇三三	一七名	第五十九回現地召集兵入隊
二〇三四	一七名	第六十回現地召集兵入隊
二〇三五	一七名	第六十一回現地召集兵入隊
二〇三六	一七名	第六十二回現地召集兵入隊
二〇三七	一七名	第六十三回現地召集兵入隊
二〇三八	一七名	第六十四回現地召集兵入隊
二〇三九	一七名	第六十五回現地召集兵入隊
二〇四〇	一七名	第六十六回現地召集兵入隊
二〇四一	一七名	第六十七回現地召集兵入隊
二〇四二	一七名	第六十八回現地召集兵入隊
二〇四三	一七名	第六十九回現地召集兵入隊
二〇四四	一七名	第七十回現地召集兵入隊
二〇四五	一七名	第七十一回現地召集兵入隊
二〇四六	一七名	第七十二回現地召集兵入隊
二〇四七	一七名	第七十三回現地召集兵入隊
二〇四八	一七名	第七十四回現地召集兵入隊
二〇四九	一七名	第七十五回現地召集兵入隊
二〇五〇	一七名	第七十六回現地召集兵入隊
二〇五一	一七名	第七十七回現地召集兵入隊
二〇五二	一七名	第七十八回現地召集兵入隊
二〇五三	一七名	第七十九回現地召集兵入隊
二〇五四	一七名	第八十回現地召集兵入隊
二〇五五	一七名	第八十一回現地召集兵入隊
二〇五六	一七名	第八十二回現地召集兵入隊
二〇五七	一七名	第八十三回現地召集兵入隊
二〇五八	一七名	第八十四回現地召集兵入隊
二〇五九	一七名	第八十五回現地召集兵入隊
二〇六〇	一七名	第八十六回現地召集兵入隊
二〇六一	一七名	第八十七回現地召集兵入隊
二〇六二	一七名	第八十八回現地召集兵入隊
二〇六三	一七名	第八十九回現地召集兵入隊
二〇六四	一七名	第九十回現地召集兵入隊
二〇六五	一七名	第九十一回現地召集兵入隊
二〇六六	一七名	第九十二回現地召集兵入隊
二〇六七	一七名	第九十三回現地召集兵入隊
二〇六八	一七名	第九十四回現地召集兵入隊
二〇六九	一七名	第九十五回現地召集兵入隊
二〇七〇	一七名	第九十六回現地召集兵入隊
二〇七一	一七名	第九十七回現地召集兵入隊
二〇七二	一七名	第九十八回現地召集兵入隊
二〇七三	一七名	第九十九回現地召集兵入隊
二〇七四	一七名	第一百回現地召集兵入隊

(總谷真・京東)

々、台湾人、鮮人、現地住民使役ノ關係

一、部隊編成時、四十一師団ニ於テ南洋支ヨリ同行雇傭人アリシ、甚カキニ名ヲ引継ギ、作戦間、大隊本部ニ於テ管理室、庶務、炊事等ノ雜役トシテ使役シ、悉ク節減ノ一即チラシメタリ、概不純トシテ、古クハ服力セリ、月額四五円乃至之ヨリ給ス、部隊ノ内地歸還ニ方リ、南洋廳ニ引継ガタリ

二、指揮下部隊ノ戦斗搜索地域内ハ、配備時兵器彈藥糧秣等ノ搬送、即チ、博覧セラル地域ノ米備ニ就カシメタル指揮下部隊ハ、獨特ノ漁獲法ニ依ル魚貝供給、宿舎、材料ノ蒐集等(例ハ、トヤカカ屋根ノ製作等)ニ最善ノ原住民(島)ノ使役(勤勞奉仕員上)シ、部隊ノ作戦ニ善ク事セル所甚カラズ

三、作戦中途ニ於テ、部隊本部、隊長官が某団經理勤勞部兼務トシテ、海軍側及南洋廳ヨリ務管セシ、鮮人、給ニ、名ヲ指揮下部隊ノ戦斗地域内ニ現地自治トシ、南洋廳ニ任シ、主食代用品ノ部隊ハ、供給ニ負裁セル所大ナリ

四、沖繩今使役シ、魚獲ノ天性ヲ遺憾ナク發揮セシメ、部隊ハ、魚貝供給ニ絶大ノ善ク事セル

二、部隊復歴ノ概要
昭和十九年六月十二日、独混ノ編成ニ依リ、誕生ス、尔来、状況ノ急迫ニ伴ハ、急速ニ然モ、ラオ本島、強固ナル陣地ヲ構築シ、其間、肉攻斬込射撃等ノ反撃ノ教育訓練ニ邁進シ、醜敵遺棄ノ能ハ、他部隊ニ魁ケ、ラオ第一ニ完成セリ

(緒谷良・京東)

之敵機ノ第三次空襲(七月)以降、MTAノ一部ヲ以テ封空、被害ニ任セシメ、増々封空、封自、斯障地施設、教育訓練ヲ強化、續行ス。

内地ヨリノ補給封鎖ニ伴ヒ、本島ノ食糧事情、急迫ニ三月集團ノ現地自治態勢、整備ノタメ、浦留人作業ニ部隊ノ一部兵力ノ援助ノ命セカシ、指揮官以下、熱心必死ニ精勵シ、其成績ハ卓越シ上ヨリ、絶讚ヲ博ス。

九月以來ノ敵機、連続鏡標、毒焼夷彈攻撃、敵艦船ノヨリ泊地ノ使用、アルコロン半島對スル小艦艇ノ連続艦砲射惠、アムカウル、ペリリウ島ニ對スル上陸等ニ依リ、状況、増々急迫ヲ告ゲルヤ、此ノ間、兵力配備ノ変更、増強等ニ日夜不眠不休ノ苦心努力ヲ強行ス。

5. 漸時状況、緩トナルヤ、命令々通過ヲ告ルル食糧事情、打開策トシテ、二十年四月、部隊全カヲ以テ、約一ヶ月ヲ限リ、此命自治作、執中、群也、前留人ヲ實施ス。

6. 昭和二十年八月一日、短キ集團ノ命令依リ、三股隊増産ニ部隊ノ全カヲ率テ、邁進ス。

三、指揮部屈辱係、其ノ変遷ノ概要、作戦固持記ス、ヤ、指揮部屈辱係ノ變遷ナシ。

四、作戦準備關係

四作戦準備關係

一 作戰計畫畫、概要

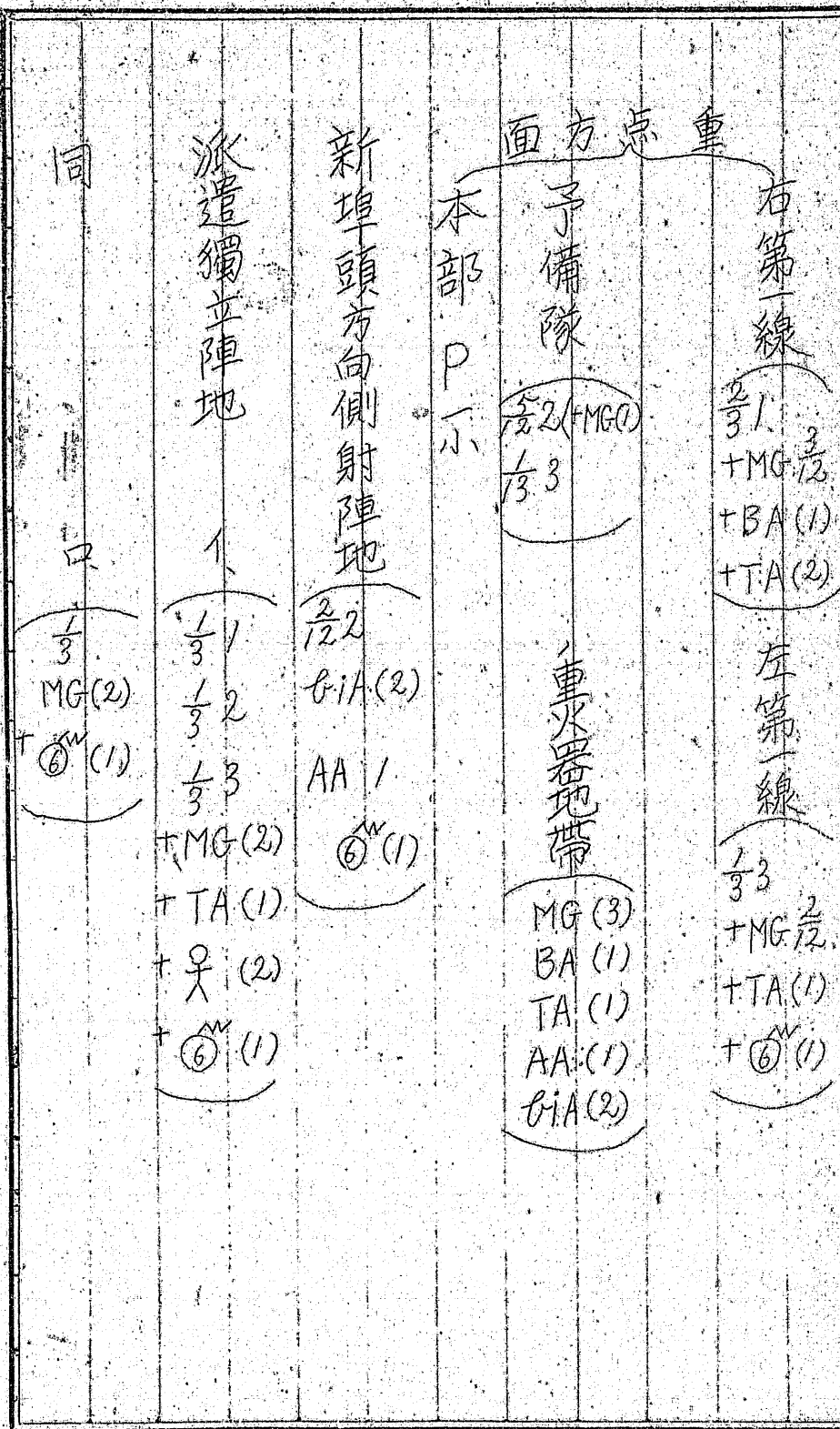
防禦方針、防禦配備

(一) 防禦方針

- 1. 上陸ヲ企圖スル敵ヲ水際ニ撃滅ス
- 2. 之が爲メ火力ノ重点ヲ新埠頭及旧埠頭(何レモ上陸容易地)ニ指向シ最モ堅固ニ陣地ヲ構築ス
- 3. 陣地ヲ縦深ニ配置シ状況止ムラ得ズ浸透セル場合ノ敵ヲ撃滅ス
- 4. 陣地ニ對空對地上ノ偽裝遮蔽ニ徹底ス
- 5. 敵目標ノ撃滅ノ重点ハ戰車ニ指向ス
- 6. 白兵貯存ニ徹底ス之が爲メ敵ノ上陸準備ノ爲メ銃爆撃艦砲射撃間地下掩蔽部ニ待期セシメ射撃開始時陣地ニ就カシム
- 7. 兵器彈藥糧秣等ハ分散偽裝遮蔽シ損害ノ減少ニ勉ム
- 8. 下省略

(二) 防禦配備(十九年十月三十日現在)

一 軍隊區分



(總谷與・京東)

只配備要圖 省略
2. 陣地ノ状況

區分	摘要
起工時期	昭和十九年六月(戦闘搜索地域内ニ進駐ト同時ニ起ス)
所要人員	築城教範ニ示サレタル諸元ノ約割減ノ人員ヲ以テ諸作業ヲ完成シ得タリ
使用資材	枕木(シクロ材)角材(主トシテ取壊家屋材)レールセメント、リーフ砂、釘、鋸、有刺鉄線、帶鉄、砂利
完成時期及強度	全般ノ完了十九年八月 平均 乙
敵攻撃ニ依ル破壊補修状況	敵攻撃ニ依リ陣地ノ破壊セラレタルモノナシ
飛行場施設	部隊ノ戦闘搜索地域内ニハ港灣施設(ヨシメ泊地及アルミ埠頭共ニ諸艦船ヲ入港シ得)飛行場施設ナシ

備考

3. 作戰準備ニ關スル主要ナル命令
 (一) 防禦方針及之ノ方メ八月ヨリニ 其他陣地ノ強度(甲)程度ニ申成テ爾後
 強度ヲ増加シ要塞化タラシムヘシ
 (二) 其他省略

(熊谷典・京東)

4. 軍需品、集積情況

1. 兵器彈藥

1. 防衛部陸地構築部以來、火砲ハ總テ洞窟式掩蔽部ニ以テ格ヲ失セズ、掩蓋陸地ニ進メシテ得ラルベク進テ備ス

2. 水鏡、所、所ハ總テ防空壕カニ収容ス

3. 彈藥ハ第一線陸地ニ約四割、第二線陸地以降ニ約六割ヲ保有セシメ、總テ彈藥掩蔽部ニ格納

排水排氣設備ヲ設テ、毎日乾平ノ子又

此等ノ子ヲ備ヘ、M榴彈ハ特別濕潤シテ使用可能ナルモノハ幸甚トナレリ

信管類ハ一切アリキニ定メテ檢査ス

4. 彈藥ハ總テ混合集積トシ、大砲彈藥ハ一集積地毎ニ五十発以内ヲ基準トシ、小口散彈等ハ

田舎心ス

5. 敵機、銃爆密ニ依リ、檢査取扱キモ、取扱

發射防止ニテ、火ノ力カヲ要シ、且、使用

不能ナルモノハ一々ニ割テ生ビリ

口糧糧被服

1. 糧秣ハ第一線五割ヲ備、五割ノ比ヲ以テ

集積シ、暴露地ニ於テハ、排水排氣

設備ヲ万全ヲ期セリ、糧秣格納簿(桐葉内)

ニ集積、密林内ハ米五十俵基準トシ、混

合集積ヲ實施ス

2. 被服ハ各人ノ以テ準備、一ト支給シ、若干ノ

多量ヲ工隊本部ニ積テ格納ス(量ナシ)

現地自治、狀況

1. 糧秣ハ戰時定員以下ヲ補給セバ、昭和三年

六月ヨリ以テ枯渴スルノ狀況ニ在リ、從テ之ガ

(新谷貞・京東)

食延ノ第ニ爲甘藷キヤツカハ、増産ニ鋭意努力ス
 昭和十九年十月至食代用品増産ノ爲大官
 民半島ノコト主作トスル也農耕部隊ノ創設セラレ
 農耕ニ従事シ遂ニ食糧事情ノ切迫スルヤ
 昭和二十年四月 部隊兵力以テスル作戦農耕
 地(密林伐採開始)ノ開始セラル 約千五ノ止
 開始心ノ若シ陸隊内農耕トシテ急一ニ對シ約
 千坪ノ耕作ヲ遂ニ完成スル
 八月初旬章ハ切迫心ノ食糧對策トシテ全面
 農耕ニ展開シ全力ヲ傾注ス 九月末約千人
 一兵員對シ甘藷ノ及者收穫セ 遂ニ増加セシ
 本年十二月一人一日約二百五十匁ノ甘藷配給
 可能ノ域ニ達シ 来年二月ニ於テハ完全自給能人
 執力確立ノ見通シ至ル
 3 製衣塩 魚粉又敵機跳梁下 鋭心固苦ヲ以テ
 自給能ノ努力確立ニ邁進シ 製塩ハ邑ニ本年六月
 自給ノ域ニ達シ 魚粉又本年七月一日自給
 均配給ノ收穫ニ着手シ 引率並前金ノ現地自給
 確立ヲ目標トシ 現況ニ邁進ス
 4 甘藷反苗平均約百千匁 キヤツカハ三百匁
 補給輸送ニ於テハ船隻狀況
 保有セル大小輸送船ハ殆ト全部敵機
 攻撃ニ依リ破壊シテ沈没シ使用得ルモノ少シ

(静谷 貞・京東)

五 戰鬥狀况

人參加セル主要ナル作戰(戰鬥)ノ概要

中部大平洋才波パラ才作戰

才波

才波

才波

昭和十九年九月六日敵機初部隊ハ才波諸島ニ來襲此來連日ニ亘リ敵機FWA F4U BF等一平均毎三千機共記來襲終戰時迄約一ヶ月河運日迄夜夜襲ヲ受ケ

主トシテ民衆橋架波止場品人負等ニ対シ銃爆毒セルモ

壁セル防空壕備裝ハ敵ニ依リ大ナル損害ナシ

コソソル泊地ニ集結セル敵船團ヲ警戒ノ為ハ才波本島

北端アルコロニ半島ニ對シ敵魚雷艇一艦砲射撃ヲ受ケ

復セラルモ巨損害殆トナシ

又機初部隊來襲狀况

昭和十九年八月六日敵機初部隊空母ニ對シ艦四ヲ轟

撃トスル約七一八日復來攻シハリリ一島ニ對シ上陸ヲ

施ス

口ハ才波本島北約三ノ五ノ村ニ優秀ナルコソソル泊地在リ

六給養衛生

給養

ハ南方作戰ニ對シ平時ノ調査研究ハ其ニ不充分ニ

部隊上陸當初ノ給養ニ支障ヲ受ケタルコト多シ

例

不現地物資ノ利用法

口降雨多ク為軍需品ノ損壞意外ニ多シ

ハ高温多濕ニ對スル裝備不適當ナリ

乙 衛生

執地ニ於ケル特異且スベキ事項ヲ左ニ揚ケ

(1) 高温多湿ノ対策

宿舎ノ乾燥地ヲ選ビ通風採光ニ留意ス又個人的

ニハ努メテ日光浴ヲシ河放セル空氣ノ下ニ作業早ス

(2) 疥癬

柳子殼ヲ放キ宿舎ノ周圍ノ下木ノ伐採ス

(3) 脚氣対策

高温多湿環境ニ動不足ハウタミンBノ欠乏以外ニ確ニ

脚氣発病ノ子トナルヲ宜シク

七 終戦ヨリ歸還迄ノ概要

終戦ト同時ニ上司ノ指示ニ基キ兵器彈薬其ノ他

ノ軍需品書類等ニ處理ス

2. 内地帰還時期ハ相当長期ニ亘ルヲ予想シ一

現地自治ノ確立ニ邁進シ、米側ノ指示ニ依ル兵

器彈薬等ノ引渡ヲ実施ス

3. 四ノ五ニ年内ニ全島ノ部隊全員ヲ揚一機守ニ至

リ、二十年十二月十二日駐留地全島ヲ離脱ス

兼船中ノ出帆ニ于テ南加具ニ到着シ、南下航

三日日復員定終ス

昭和十九年八月敵機動部隊來攻以來之利用ヲ開始シ同年本比島攻撃
直前ニ於テハ空母十二戰艦六輸送船約六十隻其他合計百數十隻
ノ大艦隊假泊ノ根據地トシテ利用セラル

3. 敵機ノ來襲狀況

第三次パラオ作戰(昭和十九年八月六日以降)頭初敵機動部隊空母ヨリ來
襲スルF4F連日百數十機ニ達シ主トシテ大術工場、住宅ヲ銃爆撃ス
(陣地ハ完全偽裝セラレアリタルヲ以テ銃爆撃ヲ受ケズ)

同年九月敵ハペリリユ一島ヲ占領スルヤ同島我ガ既設飛行場ヲ改修
主トシテF4Uヲ以テパラオ本島ヲ空襲之又連日延三十數機ニ達シ約一
年終戰時迄連日連夜來襲セリ銃爆撃目標、術工場、口、人員波
止場、橋梁、密林ノ清掃爆撃ハ遂ニ實施セラレズ終戰又特偽戰車
偽自動車等ニ盲銃爆ヲ反復シ之ガ効果大ナルモアリタリ
4. 敵機ノ損害

對空射撃部隊MGニ部隊ヲ編成對空射撃ニ任セシメ撃墜一機破二
ノ戦果ヲ收ムMG對空射撃ハ至近距離ニ於テ命中彈(三ノ五發)同時ニ
集中射撃等ハ除特ニ效果大ナリ
5. 落下不時着降下者ナシ
6. 敵ノ俘虜ナシ

30日

浦賀上陸地支局

昭和二十年十一月三十日



史実調査参考資料報告		職官		摘要	
所在地	ハナオ	職官	大隊長	終戦時ノモ ノヲ記ス	摘要
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	昭和十九年七月 由重慶ヲテ 北支山西河以北有匪 十九年七月 十九年七月 十九年七月	陸軍少佐	田見秀夫	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス	所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	昭和十九年七月十二日 大塚本部 歩兵中隊 歩兵中隊	大隊長	田見秀夫	最終ノ所屬 部隊ヲ記ス 尚其ノ以テ ノ所屬部隊 ノ介ヲモ 記ス	所屬部隊ノ 戦經過ノ概 要
終戦又ハ主力 ノ戦斗終了後 ノ状況	一時ハ之ヲ自失 シテ軍風ハ極メテ散 乱シテ現地自 治ヲ精進シ車ヲ健 強保集ニ勉ム 一般運輸中ノ未 始ノ給養ハ日本兵 ニ不足ナリ 此ノ時ヲ伸 伸シテ之ヲ 長シ	大隊長	田見秀夫	帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス	要
歸郷又ハ連 絡先	岡山縣	大隊長	田見秀夫		
其ノ他ノ参 考事項					

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月十九日)

史実調査参考資料報告

所在地	所属部隊	職官	職名	備考
浦賀	浦賀上陸地隊	氏名	前澤武四郎	終戦時ノモ ノヲ記ス
支那事変以 降ニ於テ自 己ノ略歴	昭和十九年三月九日 浦賀上陸地隊 第一中隊 第一小隊 第一班 第一組	氏名	前澤武四郎	職ノ変更及 主ナル参加 戦年名ヲ記 ス
所属部隊ノ 編成年月日 及編制整備 ノ概要	昭和十九年三月九日 浦賀上陸地隊 第一中隊 第一小隊 第一班 第一組	氏名	前澤武四郎	最長ノ所属 部隊ヲ記ス 尚其ノ以テ ノ所属部隊 ノ分ヲモ ノ概 記ス
所属部隊ノ 戦經過ノ概 要	昭和十九年三月九日 浦賀上陸地隊 第一中隊 第一小隊 第一班 第一組	氏名	前澤武四郎	終戦時ノモ ノヲ記ス
終戦又ハ主力 ノ戦ヲ終了シ テノ状況	昭和十九年三月九日 浦賀上陸地隊 第一中隊 第一小隊 第一班 第一組	氏名	前澤武四郎	帰還輸送 ノ状況ヲモ ノヲ記ス
帰郷又ハ連 絡ノ先	浦賀上陸地隊	氏名	前澤武四郎	備考
其他ノ参 考事項	浦賀上陸地隊	氏名	前澤武四郎	備考

浦賀上陸地支局

(昭和三十年十一月二十一日)

史実調査参考資料報告

所在地	職官	職名	摘要
南洋群島パラオ島	本部付	陸軍中尉 野島 地重隆	終戦時ノモ ラ記ス
支那事変以降ニ於ケル自 己ノ略歴			職ノ変更及 主ナル参加 戦年名ヲ記 ス
所屬部隊			昭和十九年六月十日 編成定結 大隊本部 一甲隊(二五名) 中銃 14. 14. 3 以テ裝備 二甲隊() 三甲隊() 四甲隊() 五甲隊() 六甲隊() 七甲隊() 八甲隊() 九甲隊() 十甲隊() 十一甲隊() 十二甲隊() 十三甲隊() 十四甲隊() 十五甲隊() 十六甲隊() 十七甲隊() 十八甲隊() 十九甲隊() 二十甲隊()
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要			昭和十九年六月十日 編成定結 大隊本部 一甲隊(二五名) 中銃 14. 14. 3 以テ裝備 二甲隊() 三甲隊() 四甲隊() 五甲隊() 六甲隊() 七甲隊() 八甲隊() 九甲隊() 十甲隊() 十一甲隊() 十二甲隊() 十三甲隊() 十四甲隊() 十五甲隊() 十六甲隊() 十七甲隊() 十八甲隊() 十九甲隊() 二十甲隊()
所屬部隊作 戦經過ノ概 要			昭和十九年六月十日 編成定結 大隊本部 一甲隊(二五名) 中銃 14. 14. 3 以テ裝備 二甲隊() 三甲隊() 四甲隊() 五甲隊() 六甲隊() 七甲隊() 八甲隊() 九甲隊() 十甲隊() 十一甲隊() 十二甲隊() 十三甲隊() 十四甲隊() 十五甲隊() 十六甲隊() 十七甲隊() 十八甲隊() 十九甲隊() 二十甲隊()
終戦又ハ主力 ノ戦斗終了後 ノ状況			昭和十九年六月十日 編成定結 大隊本部 一甲隊(二五名) 中銃 14. 14. 3 以テ裝備 二甲隊() 三甲隊() 四甲隊() 五甲隊() 六甲隊() 七甲隊() 八甲隊() 九甲隊() 十甲隊() 十一甲隊() 十二甲隊() 十三甲隊() 十四甲隊() 十五甲隊() 十六甲隊() 十七甲隊() 十八甲隊() 十九甲隊() 二十甲隊()
歸郷又ハ連 絡ノ先			昭和十九年六月十日 編成定結 大隊本部 一甲隊(二五名) 中銃 14. 14. 3 以テ裝備 二甲隊() 三甲隊() 四甲隊() 五甲隊() 六甲隊() 七甲隊() 八甲隊() 九甲隊() 十甲隊() 十一甲隊() 十二甲隊() 十三甲隊() 十四甲隊() 十五甲隊() 十六甲隊() 十七甲隊() 十八甲隊() 十九甲隊() 二十甲隊()
其ノ他ノ参 考事項			昭和十九年六月十日 編成定結 大隊本部 一甲隊(二五名) 中銃 14. 14. 3 以テ裝備 二甲隊() 三甲隊() 四甲隊() 五甲隊() 六甲隊() 七甲隊() 八甲隊() 九甲隊() 十甲隊() 十一甲隊() 十二甲隊() 十三甲隊() 十四甲隊() 十五甲隊() 十六甲隊() 十七甲隊() 十八甲隊() 十九甲隊() 二十甲隊()

一四一

浦賀上陸地支局 (昭和三十二年十二月二十九日)

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	八丁才島	職官	大隊本部附 陸軍軍醫西少尉 西山主五	終戦時ノモ リヲ記ス
所属部隊	独歩第三九大隊	氏名	西山主五	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗者ヲ 記ス
支那事変以 降ニ於テ自己 ノ略歴	昭一八、一六、中野才四、新隊ニ軍醫ヲ備ヘトシテ入營 昭一八、一三、三、中野才四、新隊ニ召集見習士官ヲ命ゼラレ 昭一八、一三、二六、才七、三九、新隊ニ補充見習士官トシテ内地出發 昭一九、一六、一、独歩第三九大隊附 昭二〇、七、一〇、軍醫少尉ニ任官ス	氏名	西山主五	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗者ヲ 記ス
所属部隊ノ 編成年月日 及編製裝 備ノ概要	昭和十九年六月十日、独歩編成定括 大隊本部 一中隊(一五名)十銃、隊員ヲ以テ裝備ス 二中隊(一〇名)十銃、隊員ヲ以テ裝備ス 三中隊(一〇名)十銃、隊員ヲ以テ裝備ス 四中隊(一〇名)十銃、隊員ヲ以テ裝備ス 五中隊(一〇名)十銃、隊員ヲ以テ裝備ス 六中隊(一〇名)十銃、隊員ヲ以テ裝備ス 七中隊(一〇名)十銃、隊員ヲ以テ裝備ス 八中隊(一〇名)十銃、隊員ヲ以テ裝備ス 九中隊(一〇名)十銃、隊員ヲ以テ裝備ス 十中隊(一〇名)十銃、隊員ヲ以テ裝備ス	氏名	西山主五	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗者ヲ 記ス
所属部隊 作戰經過	自昭一九、一六、一〇、八丁才島ノ防備地構築ニ従事ス 自昭一九、一七、一〇、八丁才島ノ防備地構築ニ従事ス 自昭一九、一八、一〇、八丁才島ノ防備地構築ニ従事ス 自昭一九、一九、一〇、八丁才島ノ防備地構築ニ従事ス 自昭一九、二〇、一〇、八丁才島ノ防備地構築ニ従事ス 自昭一九、二一、一〇、八丁才島ノ防備地構築ニ従事ス 自昭一九、二二、一〇、八丁才島ノ防備地構築ニ従事ス 自昭一九、二三、一〇、八丁才島ノ防備地構築ニ従事ス 自昭一九、二四、一〇、八丁才島ノ防備地構築ニ従事ス 自昭一九、二五、一〇、八丁才島ノ防備地構築ニ従事ス	氏名	西山主五	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗者ヲ 記ス
終戦又ハ全 力ノ戦斗終 了后ノ状況	終戦后全科通過トシテ現地自治ニシテ打南ス。 其ノ向、半島、台湾、島内、若干ノ摩擦ヲ生ズ。 独歩三四九ノ地域、自治体合併ヒテ他隊ノト、接触 最モ元月消ナキ	氏名	西山主五	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗者ヲ 記ス
帰郷又ハ連 絡ノ先	岡山縣	氏名	西山主五	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗者ヲ 記ス
其他参考ノ 事項	十一	氏名	西山主五	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗者ヲ 記ス

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月十九日)

史実調査参考資料報告

所在地	パナマ島カガヤ	職官 中隊長	摘要	
所属部隊	独立歩兵第三混成大隊	氏名 陸軍中尉菅原廣太郎	終戦時ノモ ノテ記ス	
支那事変以降 降ヲケル自 己ノ略歴	<p>昭和十七年八月日軍支那軍司令部附。同年十月十九日渡海。駐紮於南洋羣島。昭和十八年五月十五日渡海。駐紮於南洋羣島。昭和十九年九月九日渡海。駐紮於南洋羣島。昭和二十年一月十五日渡海。駐紮於南洋羣島。昭和二十年六月十五日渡海。駐紮於南洋羣島。昭和二十年十二月十九日渡海。駐紮於南洋羣島。</p>			職ノ変更及 主ナル参加 戦年名ヲ記 ス
所属部隊ノ 編成年月日 及編制整備 ノ概要	<p>一 独立混成第三旅団。昭和十九年六月十五日編成。駐紮於南洋羣島。昭和二十年六月十五日渡海。駐紮於南洋羣島。昭和二十年十二月十九日渡海。駐紮於南洋羣島。</p>			最前ノ所属 部隊ヲ記シ 尚其ノ以テ 所属部隊 ノ介ヲモ 概 記ス
所属部隊ノ 戦經過ノ概 要	<p>一 昭和十九年六月十五日編成。駐紮於南洋羣島。昭和二十年六月十五日渡海。駐紮於南洋羣島。昭和二十年十二月十九日渡海。駐紮於南洋羣島。</p>			帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス
終戦又ハ主力 ノ戦斗終了後 ノ状況	<p>一 終戦後ノ状況 二 精神教育ニ重キヲ移向シ下等兵ノ精神ヲ鼓舞シ防衛ノ 必キヲ悟ラシメ南洋ノ自衛戦力ヲ確シシ平作為主トシ ノ教育ヲ心得心ヲ失ハズ健全ニシテ食料ノ地帯ヲ選ビ 三 輸送中ノ状況 四 船内於兵糧多ク不食トシテ食料ノ不足ヲ感ズ 五 未だ例ノ若シニ機嫌上志氣ノ衰ハズ</p>			帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス
其ノ他ノ参考 事項	<p>福島縣</p>			

浦賀上陸地支局

(昭和二年一月二十九日)

史実調査参考資料報告

所在地	パラオ本島カヌカ	職官	小隊長 陸軍中尉 結城誠藏	摘要	終戦時ノモ ノヲ記ス	
所屬部隊	陸軍歩兵第三四九大隊	氏名	結城誠藏	職ノ変更及 主ナル参加 戦年名ヲ記 ス	職ノ変更及 主ナル参加 戦年名ヲ記 ス	
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	昭和十九年二月四日其ノ二八。之部隊進出ノ為水産在官發 二月七日初陣進出ノ為ニシテ向門司出航 三月一日パラオ諸島ニ上陸 同日ヨリノ部隊隊形編入ノ為大平洋隊進出 六月一日 陸軍部隊編成ノ為ハカヌカニ進出 六月十二日 陸軍部隊編成ノ為ニシテ同歩兵第三四九大隊編成 同日ヨリ 同大陣方ニ移カレシメ長					職ノ変更及 主ナル参加 戦年名ヲ記 ス
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	編成年月日 昭和十九年六月十二日 編成完結 昭和十九年六月一日 部隊ハカヌカニ進駐 大平洋隊編成ノ為 同日ヨリノ部隊進出ノ為 分三次大平洋隊進出ノ為 昭和二年八月二十五日 停戦ニ至ル					最良ノ所屬 部隊ヲ以テ 尚其ノ以テ ノ所屬部隊 ノ分ヲモ 記ス
所屬部隊作 戦経過ノ概 要	昭和十九年六月一日 部隊ハカヌカニ進駐 大平洋隊編成ノ為 同日ヨリノ部隊進出ノ為 分三次大平洋隊進出ノ為 昭和二年八月二十五日 停戦ニ至ル					最良ノ所屬 部隊ヲ以テ 尚其ノ以テ ノ所屬部隊 ノ分ヲモ 記ス
終戦又ハ主力 ノ戦斗終了後 ノ状況	部隊ノ停戦後ノ様子ニ總力ヲ竭キテ現地自衛ヲ成確立ニ 向テ猛進シテ天地貨物糧料ノ關係ヲテ人ノ生活及糧食 ノ未ダ其ノ曙ヲ見ズ 米則ヨリ糧秣ノ補給ヲ受ケル 状況ニシ					帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス
帰郷又ハ連 絡ノ先	岩城縣					帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス
其ノ他ノ参 考事項						帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月二十九日)

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	南洋群島 パラオ島	職官 中隊長 陸軍大尉 永岡茂	摘 要
所屬部隊	独立歩兵第三四九大隊	氏名	終戦時 ノ テ 記 ス
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	一 昭和十七年七月一日臨時召集 姫路歩兵第三十九旅団補充隊 五中隊附 昭和十四年五月二十四日召集 解除 一 昭和十七年七月二十九日臨時召集 第五七兵站警備隊 小隊長 昭和十八年三月四日赴 東滿ニテ爾後パラオニ アリテ警備 一 昭和十九年六月十七日独立歩兵第三四九大隊中隊長 中 部太平洋パラオ作戦ニ参加 昭和二十年十二月二十八日浦賀ニ歸還	職 ノ 変 更 及 ニ テ ル 参 加 戦 争 名 ヲ 記 ス	職ノ変更及 ニテル参加 戦争名ヲ記 ス
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	一 独立歩兵第三四九大隊 編成年月日 昭和十九年六月十七日 編成裝備 一 独立歩兵中隊ニシテ(現地製爆薬ヲ有ス 一 第五七兵站警備隊 編成年月日 昭和十九年八月三日 編成裝備 一 独立歩兵中隊ニシテ	最 終 ノ 所 屬 部 隊 ヲ 記 ス 尚 其 ノ 以 テ ノ 所 屬 部 隊 ノ 介 入 モ 概 テ 記 ス	最 終 ノ 所 屬 部 隊 ヲ 記 ス 尚 其 ノ 以 テ ノ 所 屬 部 隊 ノ 介 入 モ 概 テ 記 ス
所屬部隊 ノ概 要	一 自編成 至昭和二十年八月 警備陣地構築	米軍空襲下 パラオ本島ノ	一 自編成 至昭和二十年八月 警備陣地構築
終戦又ハ(主力 ノ戦斗終了後 ノ状況	從前より少數兵力ヲ以テ實施シタル現地自治 農耕ニ主力ヲ傾注(部長殿以下部隊全員並 官長一体トナリ農耕、漁撈製塩 其他ノ實施ニ給 養大イニ向上ス、体力増加ス)一 部隊ヲ以テ兵器運送 路其他ノ修復ヲ行ハト實施ス 昭和二十年十一月十七日去船 (L.S.)ニテ浦賀ニ全員歸還ス	歸還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス	歸還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス
歸郷又ハ連 絡ノ先	矢庫線		
其ノ他ノ参 考事項			

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月二十九日)

史実調査参考資料報告

所在地	南洋群島 パラオ島	職官	小隊長	摘 要	
所屬部隊	独立歩兵第三四九大隊	氏名	陸軍中尉 藤田茂美	終戦時ノモ ラ記ス	
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	<p>昭和三十七年一月十日又留米才支那部隊ニ入隊 昭和三十七年四月八日滿洲才五〇部隊ニ編入 昭和三十九年三月十日迄東滿ニテリテ爾後パラオニテ警備 昭和十九年九月ヨリ小隊長ニ任ズル以前ハ兵及ビ學校 昭和十九年六月十二日独立歩兵才三九六大隊小隊長中尉才 洋ハ才作戦ニ參加 昭和三十九年十月日浦賀ニ歸還</p>				職ノ変更及 ニナル事加 戦事名ヲ記 ス
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	<p>独立歩兵才三九六大隊 編成年月日 昭和十九年六月十二日 編成ノ裝備 一般歩兵中隊ニシテ(現地製爆薬ヲ有ス) 歩兵才五九九聯隊 編成ノ裝備 一般歩兵聯隊ニシテ</p>				最新ノ所屬 部隊ヲ記シ 尚其以テ 所屬部隊 ノ分ヲモ 記ス
所屬部隊 戰經過ノ概 要	<p>自編成 至昭和二十年八月十五日 空襲下パラオ本島ノ警備 陣中構築</p>				
終戦又ハ主力 ノ戦ヲ終了シ テノ状況	<p>現地自治ニ全カヲ傾注 漁撈製塩其ノ他ヲ實施シ珍養 大ニ向上 全員体力増加ス 一部ヲ以テ兵器運搬道路其ノ他ノ修復ヲ實施 昭和二十年十二月十七日米船(LST)ニヨリ浦賀ニ全員歸還ス</p>				帰還輸送 ノ状況ヲモ 記ス
歸郷又ハ連 絡ノ先	<p>長崎縣</p>				
其ノ他ノ参 考事項					

浦賀上陸地支局

(昭和 年 月 日)

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

パナマ島

職官

才三本隊長陸軍中尉

終戦時ノモ
ノヲ記ス

支那軍変以
降ニ於ケル自
己ノ略歴

昭和十九年六月十日
編成定結

職ノ変更及
主ナル参加
戦年名ヲ記
ス

所屬部隊

独立歩三三九大隊

氏名

中島留雄

職ノ変更及
主ナル参加
戦年名ヲ記
ス

所屬部隊
編成年月日
及編制裝備
ノ概要

昭和十九年六月十日
編成定結

職ノ変更及
主ナル参加
戦年名ヲ記
ス

昭和十九年六月十日
編成定結

昭和十九年六月十日
編成定結

職ノ変更及
主ナル参加
戦年名ヲ記
ス

所屬部隊
戦經過ノ概
要

昭和十九年六月十日
編成定結

職ノ変更及
主ナル参加
戦年名ヲ記
ス

昭和十九年六月十日
編成定結

終戦又ハ主力
ノ戦終了後
ノ状況

昭和十九年六月十日
編成定結

職ノ変更及
主ナル参加
戦年名ヲ記
ス

帰郷又ハ連
絡ノ先

昭和十九年六月十日
編成定結

職ノ変更及
主ナル参加
戦年名ヲ記
ス

其ノ他ノ参
考事項

昭和十九年六月十日
編成定結

職ノ変更及
主ナル参加
戦年名ヲ記
ス

02.0021

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月十九日)

史実調査参考資料報告

所在地	パナマ本島	職官 歩兵砲中隊長 陸軍大尉 平山 武雄	摘要 終戦時ノモ ラ記ス
所屬部隊	独混第三四九大隊	氏名 陸軍大尉 平山 武雄	職ノ変更及 主ナル参考加 戦年名ヲ記 ス
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	自昭一四一五三〇 朝鮮第三師團ニ北支山西省ヲ戰動シカ 自昭一五一一三 今師團ニ京城軍隊勤務 (中隊長) 自昭一九四二六 独混第三四九大隊ニ編成 自昭二〇一三二六 パナマ本島 警備 (中隊長)	編成年月日 昭一九六三 編成完結 編成裝備 (独混第三四九大隊ヲ記ス) 概要 歩兵ニ中隊 (所一三) 別一々中隊 (所一三) 別一々中隊 (所一三)	最良ノ所屬 部隊ヲ記ス 尚其ノ以テ 所屬部隊 ノ介ヲモ 概 記ス
所屬部隊 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	パナマ本島 自昭一九六一 同警備 八月十五日以降同地ニ現地自活	終戦又ハ主力 ノ戦斗終了後 ノ状況	帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス
帰郷又ハ連 絡先	徳島縣	パナマ本島ニ現地自活	其ノ他ノ参考 事項

浦賀上陸地支局

(昭和二十一年十一月二十九日)

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

南洋群島パラオ島

職官 陸軍中尉

終戦時ノモ
ノヲ記ス

所屬部隊

独立混成三四九大隊

氏名

大竹大材

職ノ変更及
主ナル参加
戦年名ヲ記
ス

支那事変以
降ニ於テ自
己ノ略歴

昭和二十一年十一月一日 兵科見習士官
昭和二十一年十一月一日 独立連射砲隊ニ轉居
昭和二十一年十一月一日 陸軍少尉ニ任ぜ
昭和二十一年五月二十九日 獨立混成三四九大隊
昭和二十一年八月二十日 陸軍中尉ニ任ぜ

所屬部隊ノ
編成年月日
及編制裝備
ノ概要

編成完結 昭和二十一年六月二十日
編制裝備
大隊本部
一中隊 (二五名) 少隊 陸軍御諒向ヲ以テ
二中隊 (一七名) (右ニ同シ)
三 中隊 (一七名) (左ニ同シ)
機甲隊 (二二名) (右ニ同シ)
步兵隊 (八五名) (別四門 四四門)

最終ノ所屬
部隊ヲ以テ
尚其ノ以テ
ノ所屬部隊
ノ介ヲモ
記ス

所屬部隊
戰經過ノ概
要

昭和二十一年十一月一日 パラオ島 陸地構築
七月三十日 大次中隊 陸地構築 (右ニ同シ)
九月一日 大次中隊 陸地構築 (右ニ同シ)
十月一日 大次中隊 陸地構築 (右ニ同シ)
十一月一日 大次中隊 陸地構築 (右ニ同シ)
十一月三十日 大次中隊 陸地構築 (右ニ同シ)

終戦又ハ主力
ノ戦ヲ終了
ノ状況

種々内地ノテニラ周々ニ陸地新聞ニ依リ一路
現地自決作制ニ邁進ス

帰還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

帰郷又ハ連
絡ノ先

静岡縣

其ノ他ノ参
考事項

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月二十七日)

史実調査参考資料報告

所在地

南洋群島パラオ島

職官

大尉 田田義男

所屬部隊

獨歩三四九大隊

支那事変以降ニ於テ自
己ノ略歴

昭和十四年近衛歩兵第三聯隊入隊留守部隊勤務
昭和十九年三月第一軍司令部轉屬昭和十九年十月
獨歩兵第三旅團轉屬中野大平洋公未作戰參加

職ノ変更及
主ナル參加
戰事名ヲ記
ス

所屬部隊ノ
編成年月日
及編制裝備
ノ概要

獨歩兵第三四九大隊編成昭和十九年六月八日
裝備概要一般中隊三步兵砲機銃中隊各一
配屬砲兵中隊一同工兵小隊一

最近ノ所屬
部隊ヲ主ニ
尚其ノ以テ
所屬部隊
ノ介ヲモ
概
記
ス

所屬部隊ノ
戰經過ノ概
要

終始南洋群島パラオ島ニ在リテ同島ノ守備作戰ニ
シテ本島ノ南東部ニ在リテ守備戰及主力ノ攻撃戰等ヲ行ヒ
テ艦艇射撃ヲ受ケタルニシテ損害極小ナリ

終戰又ハ主力
ノ戰ヲ終了シ
テノ狀況

食料ノ逼迫ニ伴ヒテ意ノ確保ヲ為シ糧食ヲ確保スルニ在リ
テ輸送ノ困難ニ伴ヒテ自給態勢ヲ整ヘタルニ在リ
歸還輸送ハ上陸用舟艇母艦ニシテ之ヲ取扱ハ糧食ノ一般舟員
ニ收容セラルルニ在リ全員舟艇庫ニ收容セラルル給食ハ糧食
貯蔵所ニシテ上陸後備用舟艇庫ニ收容セラルル給食ハ糧食
貯蔵所ニシテ上陸後備用舟艇庫ニ收容セラルル給食ハ糧食

歸郷又ハ連
絡ノ先

東京支局

其ノ他ノ考
考事項

浦賀上陸地支部

(昭和二十年十一月九日)

史実調査参考資料報告

所在地	職官	機関	備要
巴下島	氏名	陸軍少将 吉田昇	終戦時ノモ ヲ記ス
支那事変以降ニ於ケル自己ノ略歴			輸ノ変更及 至ナルベク加 戦年名ヲ記 ス
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要			最盛ノ所屬 部隊ヲ記シ 尚其ノ以テ ノ所屬部隊 ノ介ヲモ 記ス
所屬部隊 ノ概況			
戦經過ノ概 要			
終戦又ハ主力 ノ戦終了後 ノ概況			帰還輸送 ノ概況ヲモ 併記ス 四重ノ計ナリ 申込ノ刻期入 ル
其ノ他ノ参考 事項			

終戦時ノ概況

昭和十九年六月十日 編成見結
大隊本部
一中隊(二五名) 小銃中隊ヲ以テ裝備
二中队()
三中队()
四中队()
五中队()
六中队()
七中队()
八中队()
九中队()
十中队()
十一中队()
十二中队()
十三中队()
十四中队()
十五中队()
十六中队()
十七中队()
十八中队()
十九中队()
二十中队()
二十一中队()
二十二中队()
二十三中队()
二十四中队()
二十五中队()
二十六中队()
二十七中队()
二十八中队()
二十九中队()
三十中队()
三十一中队()
三十二中队()
三十三中队()
三十四中队()
三十五中队()
三十六中队()
三十七中队()
三十八中队()
三十九中队()
四十中队()
四十一中队()
四十二中队()
四十三中队()
四十四中队()
四十五中队()
四十六中队()
四十七中队()
四十八中队()
四十九中队()
五十中队()
五十一中队()
五十二中队()
五十三中队()
五十四中队()
五十五中队()
五十六中队()
五十七中队()
五十八中队()
五十九中队()
六十中队()
六十一中队()
六十二中队()
六十三中队()
六十四中队()
六十五中队()
六十六中队()
六十七中队()
六十八中队()
六十九中队()
七十中队()
七十一中队()
七十二中队()
七十三中队()
七十四中队()
七十五中队()
七十六中队()
七十七中队()
七十八中队()
七十九中队()
八十中队()
八十一中队()
八十二中队()
八十三中队()
八十四中队()
八十五中队()
八十六中队()
八十七中队()
八十八中队()
八十九中队()
九十中队()
九十一中队()
九十二中队()
九十三中队()
九十四中队()
九十五中队()
九十六中队()
九十七中队()
九十八中队()
九十九中队()
一百中队()